

徳島県

埋蔵文化財センター年報

Vol.32 2020年度

2021

公益財団法人 徳島県埋蔵文化財センター



加茂東原遺跡 古墳時代初頭の焼失竪穴住居



籠遺跡 江戸時代の徳島藩主別邸建物跡

はじめに

本書は、令和2年度に公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターが実施した事業の概要をまとめたものです。

本年度も当法人では、徳島県から委託を受け、発掘調査・出土品整理・普及事業などを実施しました。

発掘調査では、国交省の四国横断自動車道（阿南～徳島東）関連の新居見遺跡・籠遺跡、同じく国交省の吉野川河川改修事業（加茂第二堤防）関連の加茂東原遺跡、徳島検察庁庁舎建て替え関連の徳島城下町跡徳島町2丁目地点、県の徳島県立中央病院ER棟建設関連の南蔵本遺跡、同じく県の道路改築事業（徳島環状線国府・藍住工区）関連の川原田遺跡、同じく県の床上浸水対策特別緊急事業（和食・土佐地区）関連の小仁宇城跡・和食城跡の8遺跡の調査を実施しました。

出土品整理では、新居見遺跡・加茂宮ノ前遺跡・徳島城下町跡徳島町1丁目地点・小仁宇城跡の4遺跡の整理作業を行うとともに、新居見遺跡、徳島城下町跡徳島町1丁目地点、小仁宇城跡の調査報告書の刊行を行いました。

普及事業では、速報展「2020 発掘とくしま」とその関連行事を実施したほか、企画展示・公開講座・銅鐸鋳造実演・木簡づくり・発掘体験など様々な古代体験事業等を実施し、参加者の皆様に徳島の歴史文化に親しんでいただくことができました。

また、四国地区埋蔵文化財センター巡回展「発掘へんろ展」は、今年度、「四国の風土と暮らし～海と人々2」をテーマとして開催しました。

当法人は今年度も引き続き4期目のレキシルとくしま（県立埋蔵文化財総合センター）の指定管理者の指定を受けて、様々な自主事業の実施によって徳島の歴史文化情報の発信に努めているところですが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために、4月22日～5月8日まで臨時休館の措置をとったほか、一部の企画展示と講演会、古代体験事業等を中止するなど、とりわけ普及事業中心に大きな影響が生じました。しかし、そうした中でも感染予防対策として人数制限や予約制、リモート講演などを導入し、可能な限りの事業の実施に努めました。

今後とも引き続き多くの県民の皆さまに親しみやすい施設運営に努めるとともに、感染予防にも十分な対策を講じてまいりたいと考えていますので、引き続き、関係の皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人 徳島県埋蔵文化財センター
理事長 福家清司

目 次

公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの概要	3
I 令和2年度 公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの組織	5
II 令和2年度 事業概要	6
III 調査事業報告	10
調査事業一覧	11
新居見遺跡	12
籠遺跡	13
加茂東原遺跡	14
徳島城下町跡徳島町2丁目地点	15
南蔵本遺跡	16
川原田遺跡	17
小仁宇城跡	18
和食城跡	19
IV 整理事業報告	20
V 普及事業報告	
1 管理運営業務	21
2 徳島県立埋蔵文化財総合センター（対象施設）の管理運営業務	21
3 未来へ継承！とくしまの「埋蔵文化財」ディスカバリー事業 発掘とくしま実施事業	25
4 その他の普及事業	25

例 言

- 1 本書は公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの令和2年度の事業をまとめた年報である。
- 2 III調査事業報告に関する地形図は国土地理院発行1/50,000地形図を転載したものであり、各図に図幅名を記した。
- 3 III調査事業報告、V普及事業報告は各担当者が執筆し、その責を文末に記した。また、全体の編集については氏家が行った。

公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの概要

1 設立の目的

徳島県内における埋蔵文化財（出土した文化財を含む。）の調査・研究に関する事業を行い、文化財保護意識の啓発普及を図り、もって地域文化の振興に寄与することを目的とする。

2 設立年月日

平成元年4月1日（平成22年4月1日公益財団法人移行）

3 事業内容

- (1) 埋蔵文化財の発掘調査及び研究を行う事業
- (2) 出土した文化財の整理及び保存を行う事業
- (3) 埋蔵文化財の活用及び保護意識の啓発普及に関する事業
- (4) 徳島県立埋蔵文化財総合センターの管理運営に関する事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 資産及び会計

- (1) 資産構成 財団設立当初の財産、寄附金品、事業収入、資産収入、その他の収入
- (2) 資産種別 基本財産、運用財産
- (3) 事業年度 每年4月1日から翌年3月31日まで
- (4) 基本財産 10,000,000円
- (5) 決算額 345,385,614円

5 評議員

- (1) 評議員 5名（定数3名以上5名以内）
- (2) 任期 4年
- (3) 評議員会
 - ① 権限
 - ア 評議員、理事及び監事の選任及び解任
 - イ 貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれら附属明細書の承認
 - ウ 定款の変更等
 - ② 開催 定時評議員会（年1回開催）、臨時評議員会

6 役員

- (1) 理事 9名（定数3名以上10名以内）

理事のうち1名を理事長、1名を副理事長、1名を専務理事とする。

- (2) 監事 2名（定数2名以内）

- (3) 任期 2年

- (4) 理事会

① 権限 ア 法人の業務執行の決定

イ 理事の職務の執行の監督

ウ 理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の選定及び解職

② 開催 通常理事会（年2回開催）、臨時理事会

7 主たる事務所

- (1) 徳島県立埋蔵文化財総合センター内

① 所在地 徳島県板野郡板野町伏字平山86番2

② 敷地面積 16,093m²

③ 建物 鉄筋コンクリート造2階建（一部鉄骨造）255,405m²

事務所、研究員室、展示室、図書資料室、情報処理室、分析室、機材保管室、整理復元室、写真撮影室、木器、鉄器処理室等

8 事務局職員（令和2年4月1日現在）

- (1) 常勤職員 20名

内訳 派遣職員等6名、財団職員7名、嘱託職員4名、研究補助員3名

- (2) 非常勤職員 11名

内訳 調査補助員6名、整理作業員5名

I 令和2年度 公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの組織

令和2年4月1日現在

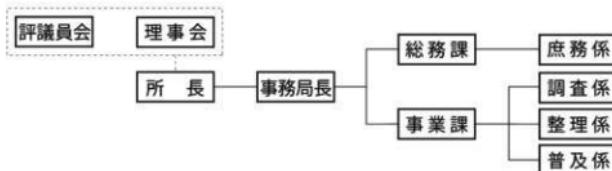
1 評議員・役員

評議員	木原 克司	鳴門教育大学名誉教授
	村澤 普恵	徳島大学国際コーディネーター
	大石 雅章	鳴門教育大学理事
	大原 賢二	徳島県立佐那河内いきものふれあいの里ネイチャーセンター長
	平井 松午	徳島大学名誉教授
理事長	福家 清司	所長
副理事長	板東 安彦	徳島未来創世文化部部長
専務理事	湯浅 利彦	事務局長
理事	真鍋 俊照	四国大学名誉教授・大日寺名誉住職
	桑原 恵	徳島大学教授
	中村 豊	徳島大学大学院教授
	吉田 一紀	元徳島県教育委員会文化財課長
	竹原 紀幸	元徳島県教育委員会教育文化政策課長
	小林 茂子	徳島県教育委員会グローバル・文化教育課長
監事	原 孝仁	公認会計士
	多田 昌功	徳島県未来創世文化部文化資源活用課長

2 職員

所長（理事長）	福家 清司	◇事業課	
事務局長（専務理事）	湯浅 利彦	課長	氏家 敏之
◇総務課		調査係	
課長	藤川 智之	研究主査	辻 佳伸
庶務係		専門研究員	島田 豊彰
主査	島田佳世子	主任研究員	西本 和哉
事務嘱託員	谷口絵梨子	研究補助員	細川 正樹, 小林 由佳, 飯田 悠衣
"	八木 恵里	整理係	栗林 誠治
"	岩塚 章代	研究主査	田川 憲
		専門研究員	岡田 圭司
		主任研究員	普及係
		研究主査	原 芳伸
		普及係長	谷口 雅宏
		事務嘱託員	大島 美咲

3 組織図



II 令和2年度事業概要

1 理事会等の開催状況について

(1) 第41回 書面理事会

開催日 令和2年4月1日（水）

議案 第1号議案 理事の選任について

第2号議案 監事の選任について

(2) 第21回 書面評議員会

開催日 令和2年4月1日（水）

議案 第1号議案 理事の選任について

第2号議案 監事の選任について

(3) 第42回 書面理事会

開催日 令和2年4月1日（水）

議案 第1号議案 副理事長の選定について

(4) 第43回 通常理事会

開催日 令和2年5月21日（木）

議案 第1号議案 平成31（令和元）年度事業報告について

第2号議案 平成31（令和元）年度事業収支決算について

第3号議案 理事及び監事の選任について

(5) 第22回 定時評議員会

開催日 令和2年6月11日（木）

議案 第1号議案 平成31（令和元）年度事業報告について

第2号議案 平成31（令和元）年度事業収支決算について

第3号議案～第11号議案 理事の選任について

第12号議案～第13号議案 監事の選任について

(6) 第44回 書面理事会

開催日 令和2年6月11日（木）

議案 第1号議案 理事長の選定について

第2号議案 副理事長の選定について

第3号議案 専務理事の選定について

(7) 第45回 書面理事会

開催日 令和2年7月18日（土）
議案 第1号議案 理事の選任について

(8) 第23回 書面評議員会

開催日 令和2年7月18日（土）
議案 第1号議案 理事の選任について

(9) 第46回 書面理事会

開催日 令和2年7月18日（土）
議案 第1号議案 副理事長の選任について

(10) 第47回 臨時理事会

開催日 令和3年1月18日（月）
議案 第1号議案 組織規則の改定について
第2号議案 就業規則の改定について
第3号議案 有期雇用職員設置規定の設置について

(11) 第48回 通常理事会

開催日 令和3年3月26日（金）
議案 第1号議案 令和2年度事業計画書の変更について
第2号議案 令和2年度事業収支予算書の補正について
第3号議案 令和3年度事業計画書（案）について
第4号議案 令和3年度事業収支予算書（案）について

2 事業の実施状況について

(1) 埋蔵文化財発掘調査業務

県から委託を受けて、次の6事業に関連する8遺跡、表面積8,440m²、のべ16,427m²の発掘調査業務を行った。

① 令和2年度徳島管内道路埋蔵文化財調査委託

遺跡名 新居見遺跡 調査面積 表面積 567m²（のべ1,134m²）
遺跡名 籠遺跡 調査面積 表面積 817m²（のべ817m²）

② 令和2年度吉野川河川改修事業（加茂第二堤防）関連埋蔵文化財発掘調査業務

遺跡名 加茂東原遺跡 調査面積 表面積 2,100m²（のべ2,100m²）

③ 徳島法務総合庁舎新営事業に伴う令和2年度埋蔵文化財調査業務

遺跡名 徳島城下町跡徳島町2丁目地点 調査面積 表面積 1,499m²（のべ3,719m²）

④ 徳島県立中央病院ER棟（仮称）整備に関する埋蔵文化財発掘調査業務

遺跡名 南蔵本遺跡 調査面積 表面積 543m²（のべ1,629m²）

- ⑤ 令和2年度道路改築事業（徳島環状線国府・藍住工区）関連埋蔵文化財発掘調査業務
遺跡名 川原田遺跡 調査面積 表面積 1,670m² (のべ 4,910m²)
- ⑥ 令和2年度床上浸水対策特別緊急事業（和食・土佐地区）関連埋蔵文化財発掘調査業務
遺跡名 小仁宇城跡 調査面積 表面積 370m² (のべ 370m²)
遺跡名 和食城跡 調査面積 表面積 650m² (のべ 1,300m²)

(2) 埋蔵文化財出土品整理業務

県からの委託を受けて、次の4事業に関連する4遺跡の出土品整理を行い、うち新居見遺跡、徳島城下町跡徳島町1丁目地点、小仁宇城跡の報告書を刊行した。

- ① 令和2年度徳島管内道路埋蔵文化財調査委託
遺跡名 新居見遺跡 整理箱数 140 箱
- ② 令和2年度那賀川河川改修事業（加茂堤防）に伴う埋蔵文化財調査業務
遺跡名 加茂宮ノ前遺跡 整理箱数 140 箱
- ③ 令和2年度徳島中央警察署新庁舎整備事業関連埋蔵文化財整理業務
遺跡名 徳島城下町跡徳島町1丁目地点 整理箱数 140 箱
- ④ 令和2年度床上浸水対策特別緊急事業（和食・土佐地区）関連埋蔵文化財整理業務
遺跡名 小仁宇城跡 整理箱数 140 箱

(3) 未来へ継承！とくしまの「埋蔵文化財」ディスカバリー事業 発掘とくしま実施業務

埋蔵文化財発掘調査の成果を広く還元するために、埋蔵文化財速報展「発掘とくしま」とびら行事を実施した。

(4) 徳島県立埋蔵文化財総合センター収蔵庫等管理業務

徳島県立埋蔵文化財総合センターに収蔵されている埋蔵文化財の管理と普及に関する業務を実施した。

(5) 遺物保存処理等業務

埋蔵文化財保護の拠点である県立埋蔵文化財総合センターにおける収蔵品等の検索システムの構築、遺物保存処理等の業務を実施した。

(6) 徳島県立埋蔵文化財総合センターの管理運営業務

徳島県から指定された施設（徳島県立埋蔵文化財総合センター・レキシルとくしま）の指定管理者として、適切な管理運営業務を行った。

3 令和2年度収支決算

公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの令和2年度の収支決算等は次のとおりである。

(1) 収入の部 (単位:円)

科 目	平成31・令和元年度	令和2年度	比較増減額	備 考
1 基本財産運用収入	1,000	1,002	2	
2 事業 収 入	256,418,000	345,137,200	88,719,200	
3 特定資産運用収入	3,029	3,032	3	
4 雜 収 入	220,300	244,380	24,080	
5 繰 越 金	0	0	0	
合 計	256,642,329	345,385,614	88,743,285	

(2) 支出の部 (単位:円)

科 目	平成31・令和元年度	令和2年度	比較増減額	備 考
1 事 業 費	205,977,239	293,693,283	87,716,044	
2 管 理 費	50,665,090	51,692,331	1,027,241	
合 計	256,642,329	345,385,614	88,743,285	

(3) 令和2年度収支差額

収入額合計	345,385,614 円
支出額合計	345,385,614 円
次期繰越額	0 円

(4) 事業量の推移

年 度	発掘面積(m ²)	整理コンテナ数(箱)	総事業費(円)
平成元	28,480	2,168	156,518,712
2	192,320	—	901,759,018
3	79,169	1,994	373,471,037
4	62,871	1,237	288,440,306
5	17,414	708	411,395,390
6	22,206	572	466,667,478
7	98,707	819	1,806,576,390
8	246,852	1,016	3,073,287,360
9	102,161	1,145	3,471,304,650
10	72,204	2,655	1,746,591,400
11	53,253	2,783	1,879,475,750
12	92,473	2,403	2,231,271,799
13	92,745	2,800	1,907,957,562
14	92,714	2,800	1,772,501,177
15	73,738	2,817	1,517,108,520
16	27,328	2,803	963,345,800
17	24,596	2,800	942,687,000
18	28,150	2,800	855,382,500
19	28,711	2,940	879,415,900
20	21,365	700	467,417,000

年 度	発掘面積(m ²)	整理コンテナ数(箱)	総事業費(円)
21	22,680	480	465,879,000
22	22,504	420	379,320,800
23	28,284	140	402,160,600
24	26,264	280	451,607,000
25	22,403	525	399,380,000
26	11,286	770	326,941,160
27	20,623	700	318,204,400
28	13,887	630	322,759,790
29	32,398	263	468,997,627
30	26,897	140	443,040,455
平成31・ 令和元	7,039	467	256,642,329
2	8,440	560	345,385,617

III 調査事業報告

県からの委託を受けて次の6事業に関連する8遺跡、表面積8,440m²、のべ16,427m²の発掘調査業務を行った。調査対象地となった遺跡は、徳島市・小松島市・東みよし町・那賀町にそれぞれ所在する。

徳島市では、徳島城下町跡徳島町2丁目地点、籠遺跡、南蔵本遺跡、川原田遺跡の4遺跡調査を実施した。徳島城下町跡徳島町2丁目地点は徳島検察庁の庁舎建て替えに関連する埋蔵文化財調査である。調査地は徳島城下町の武家屋敷の拡がる一角で、中老の神田氏の屋敷が存在する地点である。調査においては旧検察庁建物跡の部分については上層部分は攪乱を受けていたが、その他の部分では4面の遺構が確認できた。また昭和20年の空襲に伴い焼失した徳島県立高等女学校、徳島県女子師範学校に関連する遺構や遺物も確認されている。籠遺跡は四国横断自動車道（阿南～徳島東）の建設に伴う調査で、徳島藩主蜂須賀氏の別荘地であった地点より礎石建物跡が検出された。南蔵本遺跡は徳島県立中央病院ER棟の建設に伴う発掘調査で、弥生時代前期を中心とする遺構が確認できた。南蔵本遺跡ではこれまでにも近接する病棟や隣接する徳島大学医学部構内において大規模な集落跡や水田跡が調査されており、当地域の集落の解明が期待される。川原田遺跡は道路改築事業（徳島環状線國府・藍住工区）関連の埋蔵文化財調査である。事業は平成26年度より断続的に行われており、鎌倉～室町時代の水田や集落が検出されている。今年度の調査は平成27年度調査区の北側の部分を行い、これまでの知見を追認できた。

小松島市の新居見遺跡は四国横断自動車道（阿南～徳島東）の建設に伴う調査であり、中世を主体とした遺構が確認された。新居見遺跡の発掘調査は平成21年度より断続的に行われてきたが、本年度の調査で完了した。

東みよし町の加茂東原遺跡は吉野川河川改修事業（加茂第二堤防）関連の埋蔵文化財調査であり、令和元年度より開始された事業である。主体となるのは古墳時代初頭と飛鳥時代の二つの時期で、竪穴住居がそれぞれ検出されている。今回確認された古墳時代初頭の大型竪穴住居は徳島県西部では最大規模の規格であり、当遺跡が加茂谷川流域における拠点であったことを窺わせるものである。

那賀町で行われた小仁宇城跡、和食城跡の発掘調査は、いずれも那賀川流域の浸水対策事業に伴うものである。小仁宇城跡の調査地点は平成29年度に行われた調査の西側部分にあたり、城館とみられる遺構群の西を区画する溝が確認された。和食城跡は「阿波九城」のひとつに比定されている「仁宇山城」の推定地であり、調査区内から土塁や堀跡が確認された。

(氏家)

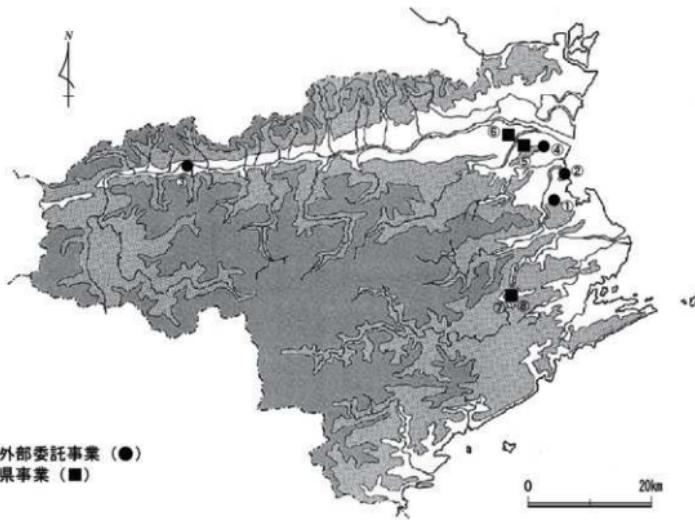
調査事業一覧

外部委託事業等関連埋蔵文化財発掘調査業務一覧

遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
1 新居見遺跡	小松島市新居見町字山路 626-1 ほか	567m ² (表面積) 1,134m ² (のべ面積)	R2.4.1 ~ R2.6.30	○室町時代	土坑・小穴	磁器・須恵器・土師器
2 龍遺跡	徳島市大原町大神子	817m ² (表面積) 817m ² (のべ面積)	R2.12.1 ~ R3.3.31	○江戸時代	礎石建物跡・岩礁 ビット	瓦・磁器
3 加茂東原遺跡	東みよし町加茂 203-1 ほか	2,100m ² (表面積) 2,100m ² (のべ面積)	R2.7.1 ~ R2.11.30	○古墳時代 ○飛鳥時代 ○平安時代	竪穴住居・掘立柱 建物・土坑	土師器・須恵器・石 器 金属製品
4 徳島城下町跡 徳島町2丁目地点	徳島市徳島町2丁目 17	1,499m ² (表面積) 3,719m ² (のべ面積)	R2.7.1 ~ R3.3.31	○江戸時代 ○近代	礎石建物跡・溝	磁器・陶器・土師器・ 瓦

県事業等関連埋蔵文化財発掘調査業務一覧

遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
5 南蔵本遺跡	徳島市南蔵本町1丁目 10 ほか	543m ² (表面積) 1,629m ² (のべ面積)	R2.11.30 ~ R3.3.31	○弥生時代 ○古墳時代 ○飛鳥時代	溝・土坑・方形周 溝墓・陪塚遺構	須恵器・土師器 弥生土器・石器
6 川原田遺跡	徳島市国府町川原田字西 野 36 ほか	1,670m ² (表面積) 4,910m ² (のべ面積)	R2.4.1 ~ R2.10.31	○鍾倉時代 ○室町時代	溝・土坑・掘立柱 建物・土壤墓	磁器・陶器・土師器 金属製品
7 小仁宇城跡	那賀町小仁宇字船津の上 146	370m ² (表面積) 370m ² (のべ面積)	R2.4.1 ~ R2.6.30	○室町時代	溝	陶器・土師器
8 和食城跡	那賀町和食字南川 157-1	650m ² (表面積) 1,300m ² (のべ面積)	R2.4.1 ~ R2.6.30	○弥生時代 ○室町時代	土壙・土坑・小穴	磁器・陶器・土師器 弥生土器・石器



発掘調査地点位置図

新居見遺跡

所在地 小松島市新居見町字山路 626-1 ほか
調査期間 令和2年4月1日～令和2年6月30日
担当者 島田 小林

調査概要 遺跡は勝浦川南岸の田野山地北麓にあり、勝浦川により形成された沖積地上に立地する。平成21年度から調査が開始され、これまで縄文時代晚期の土偶や、古墳～飛鳥時代の墳墓群、鎌倉時代では、同安窯系の青磁が副葬された土壙墓、室町時代の屋敷地群などが確認されている。

遺構と遺物 調査前は宅地及び墓地として利用されており、地表面下は盛土及び山からの崩落土が2mほど堆積していた。標高約3.0m地点で、古墳・飛鳥時代の遺構面を、標高約2.8～2.9m地点で、古墳時代の遺構面をそれぞれ確認した。出土遺物としては土師器・須恵器・陶磁器・鉄製品・石製品等がある。

古墳・飛鳥時代の遺構面では、柱穴跡から建物を構成するような遺構の配置は、みられなかつた。調査区中央に、隣接する調査区で検出された水汲み場遺構の延長が確認された。水汲み場遺構(SX3001)では、中世時代末(15世紀から16世紀末)と思われる備前焼が確認され、上面からの掘り込みであると推測される。遺構の大きさは南北約7m、東西約5m、深さは約1.7mを測る。

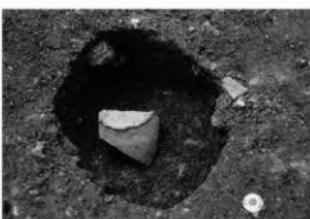
古墳時代の遺構面に関して、特筆すべき遺構は確認できず、遺物の出土数は少なかった。

まとめ 調査区全体の遺構密度が低く、さらに南東にいくほど、密度が疎くなっている。このことから、遺跡の南東側縁辺部であると考えられる。

(小林)



1 調査地の位置 (阿波富岡)



2 遺物出土状況



3 水汲み場遺構



4 遺構完掘状況 (北から)

籠遺跡

所在地 徳島市大原町大神子

調査期間 令和2年12月1日～令和3年3月31日

担当者 原 小林

調査概要 遺跡は徳島市大原町大神子の岬状となる付け根の部分に位置し、海拔2.0m前後の海岸に面した平坦面にある。

調査対象地は、江戸時代の徳島藩主であった蜂須賀氏の別荘（御茶屋）が所在したとされる地点である。上級武士の別荘としては、これまでに延生軒・養老軒などの調査が実施されているが、詳細は不明である。

遺構と遺物 碇石建物跡の礎石の配置などが確認され、円文の軒丸瓦なども出土し、瓦屋根の外観を呈した建物であったことが分かった。また規則的に配置された岩礁ピットも確認され、付属施設として海に突き出た棧敷が組まれていたことも推測される。礎石および礎石の間に石を並べる基礎の構造や規模などから、藩主の施設として相応しい格式をもった普請であり、藩による普請であったと思われる。

今回の調査対象は、3度目に移転再建された御茶屋にあたり、2×2間の瓦葺屋根の礎石建物跡が所在していたことが明らかとなった。移転再建に伴い、規模も縮小されていたと思われる。これらの遺構は19世紀後半以降～幕末の時期に存続していたことが考えられる。

まとめ

籠地域にあった史跡は絵図や文献資料も少なく、蜂須賀氏別荘とされる御茶屋の実態は不明な点も多いが、今回の調査によって歴史資料だけでは不明だった蜂須賀氏別荘の様相を把握する上で新たな知見が得られた。

（原）



1 調査地の位置（徳島）



2 遺跡全景（南から）



3 作業風景



4 瓦出土状況

加茂東原遺跡

所在地 三好郡東みよし町加茂 203-1 ほか
調査期間 令和2年7月1日～令和元年11月30日
担当者 島田（7～8月）原（9～11月）
小林

調査概要 遺跡は徳島県北西部の吉野川中流域南岸、標高68m前後の微高地北端部に立地する。主に古墳時代初頭、古墳時代後期～飛鳥時代、中世（鎌倉～安土桃山時代）の3時期の遺構がみられ、主体となる時期は古墳時代後期～飛鳥時代であり、12棟の竪穴住居跡が確認された。

遺構と遺物 本遺跡の今回の発掘調査で特筆すべきこととして、地形的条件や遺構の出土状況、調査区の南側壁面に竪穴住居跡などの遺構の断面が確認できること、および周辺地域で弥生～古墳時代の遺物を多く表面採集していることから、調査地点の所在する南側の平野部（段丘面）にも弥生～古墳時代の集落（遺跡）が形成されていることが明らかになった。

東みよし町の平野部では、これまでに稲持遺跡でも竪穴住居跡（集落跡）が確認されている。今回の発掘調査でも平野部に集落が確認された。加茂東原遺跡の調査では、東みよし町にひろがる平野部に展開する集落の一端を垣間見たに過ぎないが、これまでにも指摘されていた集落の存在を裏付けることができたことは大きな成果であるといえる。

まとめ 東みよし町の平野部における埋蔵文化財発掘調査例は少なく、遺跡の実態把握にはまだ時間を要するが、今後、当該地域（平野部）および周辺地域で発掘調査により、平野部に展開する遺跡の実態はもとより徳島県西部ひいては徳島県全体における古代社会の様相がより一層明確に把握できるものと思われる。
(原)



1 調査地の位置（池田）



2 竪付き竪穴住居完掘状況



3 遺構完掘状況（西から）

徳島城下町跡徳島町2丁目地点

所在地 徳島市徳島町2丁目17

調査期間 令和2年7月1日～令和3年3月31日

担当者 辻 飯田

調査概要 調査地は、明治時代後期に創設された徳島県立高等女学校、徳島県女子師範学校の敷地内に位置しており、調査により昭和20年の徳島大空襲で焼失した両校に関わる遺物や遺構を検出した。また、江戸時代には徳島藩中老、神田氏の屋敷地にあたり、幕末期から江戸時代初期に至る4面の遺構面を調査した。

遺構と遺物 調査区内で広く検出した戦災整地層からは、焼けた瓦やレンガ、陶磁器、溶融したガラスなどが大量に出土した。また、女生徒の使用した硯や文鎮などの学用品、食器や化粧品の瓶などの日用品も数多く出土している。整地層の下層で検出した女学校・師範学校の寄宿舎基礎（SA1001・1003）は東西棟の2棟分で、位置は戦前の航空写真と一致する。また、寄宿舎の南には戦時菜園とみられる畝状遺構を検出した。

神田家に関わる遺構としては、江戸時代後期の礎石建物跡（SA2001）や石組圍池（SK5010）等、江戸時代初期の溝（SD5001）や廃棄土坑（SK5023）等がある。特にSD5001は初期城下町の地割りに関わる遺構の可能性がある。遺物としては、神田家の家紋瓦や「松平淡路守内 神田内匠」銘の木簡の出土が特筆される。

まとめ 今回の調査は、徳島大空襲を対象とした発掘調査としては県下初例となった。出土した遺物は、空襲の様相を伝えるとともに、当時の女生徒の学校生活や日常生活を物語るものとして重要である。神田氏の屋敷地の調査は部分的であったが、その構造や変遷を考える上で有用な資料が得られた。

(辻)



1 調査地の位置（徳島）



2 女学校・師範学校の寄宿舎の基礎



3 江戸時代後期の建物の礎石



4 江戸時代初期の溝

南蔵本遺跡

所在地 徳島市南蔵本町1丁目10ほか
調査期間 令和2年11月1日～令和3年3月31日
担当者 西本 細川

調査概要 遺跡は鯖喰川が形成した扇状地の東端、南側の眉山から北東方向に向かって徐々に低くなる緩斜面に位置している。遺跡は現地表下1mの標高2.4m～1.2mに広がっている。本遺跡では平成18年～20年に当センターが徳島県立中央病院改築に伴って発掘調査を実施し、弥生時代前期の壠状遺構を伴う用水路、水田などを確認している。

遺構と遺物 徳島県立中央病院ER棟整備に関する埋蔵文化財発掘調査は2か年計画で実施されることから、調査対象地をA区とB区に区分けしている。今年度は南側のB区(544m²)の調査を実施した。第1遺構面では弥生時代中期後葉の方形周溝墓を確認し、周溝から供獻された壺形土器が出土している。第2遺構面では竪穴住居、土坑、畠などを確認している。畠は調査区の中央東寄りで東西14m、南北11mにわたって検出され、面積はおよそ150m²を測る。南北方向に延びる9条の畠が確認されたことから、畠立てをもつ畠であることがわかった。時期は弥生時代前期中葉と考えられる。

まとめ 今回の調査では、弥生時代前期中葉～中期後葉の遺構が確認された。なかでも第2遺構面で検出された畠は特筆される。本県では隣接する徳島大学医学部構内の庄遺跡に次ぐ2例目の確認となつた。畠は弥生時代前期中葉に発生した洪水砂に覆われており、遺存は極めて良好である。当時の農耕の実態を示す重要な成果といえるだろう。今後は畠で採取した土壤について、微化石分析による栽培種の検討や、微細形態分析による土壤構造の解明等を実施する必要である。 (西本)



1 調査地の位置（徳島）



2 第2遺構面で確認された畠遺構



3 土坑 (SK2003)

川原田遺跡

所在地 徳島市国府町川原田字西野 36 ほか
調査期間 令和2年4月1日～令和2年10月31日
担当者 西本 細川

調査概要 遺跡は徳島市国府町に所在する。遺跡は吉野川と飯尾川によって形成された沖積地に立地している。本遺跡では徳島環状線国府・藍住工区の道路改築事業に伴い平成26年度より断続的に調査が実施されてきた。これまでの調査で鎌倉時代から室町時代の水田跡や区画溝をもつ屋敷地などが確認されている。

遺構と遺物 今年度の調査は、全調査対象範囲のほぼ中央にあたるF-1区と、その南側のB-2区で実施した。F-1区では室町時代と考えられる掘立柱建物跡を確認すると共に、北側に向かう自然地形の落ち込みを検出したことで集落の北限を把握することができた。B-2区では16世紀前半の掘立柱建物と区画溝を検出し、南側の西野地区で確認されたた屋敷地が北側に広がることが確かめられた。また下層では長方形土壙墓が32基検出されている。これまでの調査成果を踏まえると、土壙墓は南北およそ40mの範囲に築かれており、一帯が14世紀頃の墓域であったことが判明した。この他、調査区の南端で黒色土器の細片を含む平安時代の小穴を確認している。

まとめ 今回の調査地点のうちB-2区は平成27年度に実施された西野3区の北側にある。調査の結果、16世紀前半の屋敷地が北へ広がることが確かめられた。また、その下層に広がる14世紀の墓地の北限も確かめられた。このように鎌倉時代後期以降の土地利用の変遷が明らかとなった点は重要である。
(西本)



1 調査地の位置（川島）



2 調査地点全景（北から）



3 掘立柱建物跡完掘状況



4 長方形土壙墓群完掘状況

小仁宇城跡

所在地 那賀郡那賀町小仁宇字船津の上 146
調査期間 令和2年4月1日～令和2年6月30日
担当者 辻 飯田

調査概要 小仁宇城跡は、那賀川右岸の標高約55mの河岸段丘上に所在する。『阿波志』によると永禄年間に藤原正廣が拠った城であるとされ、『鷺敷町史』には、屋形跡と思われる10a余の耕地には空堀や石垣が巡っていたと記されている。

平成29年度に先行して城の中心部の調査が実施され、15世紀代を中心とする遺物や掘立柱建物跡などの遺構が確認されている。今回の調査は前回の調査区の西側に隣接する箇所であり、空堀跡の伝承が残る箇所にあたる。

遺構と遺物 SD1001は堀跡の伝承が残る位置で検出した南北方向の溝である。検出面で上幅7.8m、深さ1.3mを測る。断面形状は逆台形状で、段堀りとなっている。埋土は、上層が伊万里焼や寛永通宝など近世以降の遺物を含む水田耕作土、最下層は備前焼甕・擂鉢、瀬戸焼盤・天目茶碗、中国産青磁碗などを含む粘質土であった。最下層の出土遺物は、平成29年度調査の小仁宇城跡の出土遺物の年代と一致することから同時代の遺構と考えられ、小仁宇城跡の西側を画する堀として機能したものと考えられる。また、上層の水田は、廃城後に堀が埋没し、近世以降の一定期間、水田として利用されたことを示すものである。

まとめ 今回の調査は、狭小な面積であったが、小仁宇城跡の空堀跡と伝承される箇所で城跡の西側を画すると考えられる溝跡を検出した。平成29年度の調査成果と併せて、記録や伝承に残された小仁宇城跡の実態の解明に資する重要な成果が得られた。

(辻)



1 調査地の位置（雲早山・阿波富岡）



2 溝 (SD1001) 検出状況



3 溝 (SD1001) の掘削の様子



4 溝 (SD1001) 完掘状況

和食城跡

所在地 那賀郡那賀町和食字南川 157-1

調査期間 令和2年4月1日～令和2年6月30日

担当者 辻 飯田

調査概要 和食城跡は、那賀川右岸の標高約54mの河岸段丘上に所在する。天正13年（1585）に阿波に入封した蜂須賀家政が国内に置いた九つの支城（阿波九城）のうち、那賀地方に置かれた「仁宇山城」の比定地の一つとされる。城跡の現況は、蛭子神社の境内地となっている。地表面の観察では、境内地の北側と西側に土壘、東側に土壘と堀、北側土壘と東側土壘の接点には虎口や土橋とみられる土地の凹凸が認められる。今回の調査は、那賀川堤防建設予定地にかかる北側土壘と西側土壘、東側土壘と堀の一部及び、虎口から土橋にかけての箇所を対象として実施した。

遺構と遺物 北側土壘は基底面からの高さ約1.5mが残存しており、東端は1.5m程高くなった檐台状を呈する。東堀は深さ3mまで調査したが、さらに東側に向かい深くなる。土橋は地山を掘り残して造られており、上幅1.8～2m、虎口に向かって緩やかな登り坂となっている。虎口は北土壘と東土壘に挟まれた空間で、土橋から11m程を直線的に登り、北土壘に突き当たって左に折れており、食い違い虎口の範疇に含まれるものである。

なお、土壘の下層では平安～室町時代の遺構、さらに下層で弥生時代中期末～後期初頭の遺構を検出した。

まとめ 今回の調査により、和食城跡の土壘や堀の規模・構造の一端を把握することができた。文献史料の知見と併せて、仁宇山城の所在を特定する資料となろう。また、弥生時代の遺跡の調査は那賀町では初例となり、当地域の歴史を考える上で貴重な知見が得られた。

（辻）



1 調査地の位置（雲早山・阿波富岡）



2 和食城跡遠景（蛭子神社と那賀川）



3 堀と土壘の完掘状況



4 土壘の下層で検出された弥生時代の遺構

IV 整理事業報告

徳島県からの委託を受け、次の4事業4遺跡の出土品整理業務を実施した。



新居見遺跡トレース作業



加茂宮ノ前遺跡復元作業



徳島城下町跡徳島1丁目地点実測作業



小仁宇城跡洗浄作業

出土品整理業務一覧

事業名	遺跡名	所在地	整理期間	担当者名	整理概要	備考
徳島管内道路埋蔵文化財調査委託	新居見遺跡	小松島市新居見町	R2.4.1～R3.3.31	栗林	実測、トレース作業、レイアウト、写真撮影、観察表作成、原稿執筆	報告書300部の刊行と発送
令和2年度那賀川河川改修事業（加茂堤防）に伴う埋蔵文化財調査業務	加茂宮ノ前遺跡	阿南市加茂町	R2.4.1～R3.3.31	田川	遺物洗浄、接合、復元	
令和2年度徳島中央警察署新庁舎整備事業関連埋蔵文化財整理業務	徳島城下町跡 徳島1丁目地点	徳島市徳島町1丁目	R2.4.1～R3.3.31	岡田	実測、トレース作業、レイアウト、写真撮影、観察表作成、原稿執筆、木製品保存処理	報告書300部の刊行と発送
令和2年度床上浸水対策特別緊急事業（和食・土佐地区）関連埋蔵文化財整理業務	小仁宇城跡	中川町小仁宇	R2.4.1～R3.3.31	氏家(4～8月)・島田(9～3月)	遺物洗浄、接合、復元、実測、トレース作業、レイアウト、写真撮影、観察表作成、原稿執筆	報告書300部の刊行と発送

V 普及事業報告

令和2度の普及事業は、埋蔵文化財の保護・活用と普及啓発を目的とし、指定管理者としての自主事業を中心に、従来の業務も継承しながら、更なる充実のための創意工夫を加えて実施した。

1 管理運営業務

収蔵庫等業務

埋蔵文化財保護の拠点である県立埋蔵文化財総合センターにおいて、県内の埋蔵文化財の保存・活用が一層図られることを目的とし、遺物保存処理、収蔵庫内の資料保管、検索ファイルの作成、図書受納等の業務を行った。

2 徳島県立埋蔵文化財総合センター（対象施設）の管理運営業務

県教育委員会から指定された同センターの指定管理者として、管理運営事業計画に記載した管理運営の基本方針（利用促進、サービス向上、コスト削減、施設の適正な維持管理、地域への貢献・連携、安全管理、環境への配慮）に沿って、適切な管理運営業務を実施した。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大により、全国に緊急事態宣言が出されるなど、集客施設にとって困難の大きな一年であった。臨時休館をはじめ、行事の中止、三密を避けるため、リモートによる講演会の開催や入人数制限のため行事ごとに往復葉書による申し込みによる抽選を行った。来館者に対しても検温や消毒、来館者シートの記入など協力を求めながら管理運営を行った。

(1) 対象施設の利用状況

- ・期間 令和2年4月1日（水）～令和3年3月31日（水）
- ・来所者数 6,982人

(2) 自主事業の実施状況

① 埋蔵文化財企画展示

レキシルとくしま展示1『アワコウコ楽のいっぴん「弓と矢」』

- ・実施期間 令和2年4月21日（火）～令和2年5月24日（日）

※4月22日～5月8日の間は新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館

- ・来所者数 279人

レキシルとくしま展示2『長国の埋蔵文化財 漆「長国の装身具」』

- ・実施期間 令和2年9月5日（土）～10月11日（日）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

レキシルとくしま展示3『アワコウコ楽のいっぴん2「装身具」』

- ・実施期間 令和2年9月5日（土）～10月11日（日）

- ・来所者数 997人

レキシルとくしま展示4

第2回 四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展『四国の風土と暮らし』

・実施期間 令和3年1月8日(金)～3月14日(日)

・来所者数 1,222人

② 考古学専門講座 全2回

第1回 令和2年10月11日(日)

・演題『徳島の縄文1 —集落と祭祀—』

・講師 中村 豊 (徳島大学)

・受講者数 32名

第2回 令和2年11月8日(日)

・演題『徳島の縄文2 —農耕の起源—』

・講師 中村 豊 (徳島大学)

・受講者数 28名



発掘とくしまリモート講演会

③ アワコウコ楽公開講座 全5回

第1回 令和2年6月14日(日)(新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期)
令和2年9月6日(日)

・演題『加茂宮ノ前遺跡の銅剣関連資料をめぐって』

・講師 吉田 広氏 (愛媛大学ミュージアム) ※リモートによる講演

・受講者数 37名

第2回 令和2年6月21日(日)(新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期)
令和2年12月6日(日)

・演題『縄文時代の遠距離交易』

・講師 栗島義明氏 (明治大学黒耀石研究センター)

・受講者数 49名

第3回 令和2年9月6日(日)(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

・演題『先史時代の石製装身具』

・講師 大坪志子 (熊本大学)

第4回 令和3年1月31日(日)

・演題『勤番武士の食日記 一日記と発掘資料からみる江戸の食生活—』

・講師 青木直巳氏 (東洋大学) ※リモートによる講演

・受講者数 35名

第5回 令和3年2月28日(日)

・演題『木簡からみた阿波国の中世』

・講師 渡辺晃宏氏 (奈良大学)

・受講者数 39名

④ おもしろ古代体験

ゴールデンウイーク特別企画「勾玉づくり」

・実施日 令和2年4月25日(土)・26日(日), 令和2年5月2日(土)～5月5日(火)

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館中につき中止)

『アワコウコ楽のいっぴん「弓と矢』関連企画「弓矢、射抜く！」

・実施日 令和元年5月17日(日)

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

玉斧をつくろう

・実施日 令和2年7月5日(日)

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

銅鐸実演「銅鐸の再現」銅鐸キーホルダーブル

・実施日 令和2年10月25日(日)

・参加者数 25人

銅鐸をつくろう

・実施日 令和2年11月3日(火)

・参加者数 8人

木簡づくり

・実施日 令和3年2月14日(日)

・参加人数 6名

てくてく遺跡ウォーキング4

・実施日 令和3年3月7日(日)

・参加人数 24人



夏休みおもしろ古代体験（ガラス玉づくり）

⑤ 2020 夏休みおもしろ古代体験

夏休み特別企画として、児童・生徒対象に古代体験を実施した。

『ガラス玉づくり』 令和2年8月9日(日)・8月16日(日)

『発掘体験 一 遺跡を掘ろう』(三好郡東みよし町加茂東原遺跡) 令和2年8月17日(月)

『まいぶん消しゴムづくり』 令和2年8月23日(日)

『矢野銅鐸をつくろう』 令和2年8月30日(日)

・のべ体験者数 118名

⑥ アワコウコ楽ボランティア俱楽部

万葉の植物を楽しむプロジェクト・・・古の草花研究、植物の育成では「古代ハス」の育成。

古代ものづくりプロジェクト・・・・草木染め、組紐づくりの研究し、体験行事を行った。

遺跡案内人プロジェクト・・・・・・板野町周辺の遺跡について学習し、遺跡めぐりウォーキングを実施した。

・その他センター自主事業において、会場設営や準備、イベント運営に参加した。それぞれが
自主的に参加し、ボランティア活動を行った。

- ・実施回数 26回（実習、全体会を合わせた回数）
- ・のべ参加者数 154名

⑦ その他の行事

『フンディー、やのまるを探せ』	令和2年4月2日（木）～令和3年3月31日（水）	190名
『まいぶんクイズ』	令和2年4月2日（木）～令和3年3月31日（水）	15名
発掘とくしまクイズ	令和2年6月9日（火）～7月12日（日）	53人
四国の風土と暮らしクイズ	令和3年1月10日（土）～3月15日（日）	20名

（3）徳島県立埋蔵文化財総合センター公式ホームページの管理

- ・更新回数 25回
- ・アクセス数 22,583件

（4）団体来所対応

- ・23団体 928人

	月 日	團 体 名	小 学 生	中 学 生	高 校 生	一 般	合 计	内 容
1	7月30日	東光小学校	16			2	18	見学・火おこし・勾玉
2	9月11日	市場中学校		64		6	70	見学・火おこし・勾玉
3	10月1日	板野東小学校	315			10	325	見学
4	10月15日	徳島聴覚支援学校	1			2	3	見学
5	10月16日	北井上小学校	29			2	31	見学
6	10月22日	美馬小学校	33			3	36	見学・勾玉
7	10月27日	板野南小学校	30			2	32	見学・勾玉
8	10月28日	和田島小学校	56			5	61	見学
9	10月29日	明神小学校	28			2	30	見学・勾玉
10	10月30日	伊沢小学校	20			4	24	見学・勾玉
11	11月5日	飯尾敷地小学校	25			4	29	見学・火おこし・勾玉
12	11月5日	高志小学校	49			2	51	見学・火おこし・勾玉
13	11月5日	新野東小学校	4			2	6	見学
14	11月10日	宝田小学校	22			2	24	見学・勾玉
15	11月11日	今津小学校	39			4	43	見学・草木染め・火おこし
16	11月13日	横見小学校	44			4	48	見学・草木染め・火おこし
17	11月20日	八幡小学校	19			2	21	見学・勾玉
18	12月4日	吾橋小学校	5			4	9	見学・勾玉
19	1月23日	放課後デイサービス いーちネクスト	3	3		4	10	見学
20	1月23日	徳島県立博物館友の会				10	10	見学
21	1月30日	徳島県庁ふれあいバス			5	6	11	見学・火おこし
22	3月14日	NPO法人 徳島県ウォーキング協会				30	30	見学
23	3月17日	城東高等学校			4	2	6	見学

（原）

3 未来へ継承!とくしまの「埋蔵文化財」ディスカバリー事業 発掘とくしま実施事業

埋蔵文化財発掘調査の成果を広く還元するために、埋蔵文化財速報展「2020 発掘とくしま」とび関連行事を実施した。今回は平成 31・令和元年度の事業内容から、加茂宮ノ前遺跡ほか、現地説明会の行われた加茂東原遺跡などの成果を展示するとともに、調査報告会及び講演会を実施した。

- ・実施期間 令和 2 年 6 月 9 日（火）～7 月 12 日（日）
- ・実施場所 レキシルとくしま（徳島県立埋蔵文化財総合センター）
- ・速報展示 川原田遺跡（徳島市国府町）
加茂宮ノ前遺跡（阿南市加茂町）
加茂東原遺跡（三好郡東みよし町）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため調査報告会及び講演会は実施期間後の 9 月 6 日（日）と 12 月 6 日（日）に開催した。また 7 月 5 日（日）に予定していた体験イベント「玉斧をつくろう」は中止した。

- ・来所者数 983 名

4 その他の普及事業

(1) 埋文 WEB の管理運営

現地説明会の案内・各種イベント案内・発掘作業員などの募集案内や公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの活動内容全般を掲載した。

- ・アクセス数 11,273 件

(2) 埋蔵文化財センター年報の刊行

- ・埋蔵文化財センター年報 Vol.31 500 部



発掘へんろ展の展示解説



夏休みおもしろ古代体験（発掘体験）

(3) 各種研修の受け入れ

	実施日	団体名	人数	内 容
1	令和2年10月28日～ 10月29日	徳島県教育委員会学校教育課	1	高校生インターンシップ（城南高校）
2	令和3年2月16日～ 2月17日	徳島県教育委員会学校教育課	2	高校生インターンシップ（板野高校）

(4) 職員の対外活動

No	期 日	内 容	参加者
1	4月1日～3月31日	鳴門市文化財保護審議会委員	福家
2	4月1日～3月31日	一宮城跡調査指導委員会委員	福家
3	4月1日～3月31日	阿波市教育振興計画審議会委員	湯浅
4	4月1日～3月31日	阿波市文化財保護審議会委員	湯浅
5	4月1日～3月31日	徳島市立考古資料館協議会委員	湯浅
6	4月1日～3月31日	日教弘徳島支部教育振興事業選考委員会委員	湯浅
7	4月1日～3月31日	阿波市古墳調査検討委員	湯浅・藤川
8	4月1日～3月31日	小松島市文化財保護審議会委員	藤川
9	4月1日～3月31日	藍住町文化財保護審議会委員	氏家
10	5月14日	「長国の埋蔵文化財 漆」協議（阿南市）	原
11	6月3日	四国地区埋蔵文化財センター巡回展「発掘へんろ」展示資料搬入（愛媛県松山市）	原・栗林
12	7月1日～3月31日	史跡板東俘虜収容所保存活用検討委員会委員	福家
13	8月19日～8月21日	遺物の3次元計測に関する視察（岩手県盛岡市）	氏家・栗林
14	9月8日	徳島県活き活性シニア放送講座講師（徳島市）	湯浅
15	9月9日	铸造実演「銅鐸の再現」実施に関する打ち合わせ（京都府乙訓郡大山崎町）	原
16	10月1日～10月2日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会中国・四国・九州ブロック会議への出席（広島県広島市）	藤川
17	10月8日	四国地区埋蔵文化財センター巡回展「発掘へんろ」協議（香川県坂出市）	氏家・原
18	10月23日	令和2年度徳島県シルバー大学・同大学院 web 講座講師（板野町）	湯浅
19	10月29日～10月30日	令和2年度全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会への出席（愛媛県松山市）	田川
20	11月7日	あすたむらんどサイエンスフェア2020への出展（板野町）	湯浅・藤川
21	11月12日	令和2年度徳島県文化財巡視員研究会講師（板野町）	湯浅
22	3月10日	ぬか塚占墳3次元測量の指導（鳴門市）	栗林
23	3月12日	加茂宮ノ前遺跡案内板作成の打ち合わせ（阿南市）	田川
24	3月24日	加茂宮ノ前遺跡案内板作成の打ち合わせ（阿南市）	田川



火おこし体験



てくてく遺跡ウォーキング

(5) 考古資料の活用

利用回数 72回 利用点数 3,994点

	申請日	申請内容	資料名称等	点数	申請者	利用目的等
	許可日	開始日 終了日				
1	2月7日	貸出・その他(展示)	南蔵木遺跡出土土器片 下中筋遺跡出土織機骨 火炎勾玉他	20	(公財)徳島県埋蔵文化財センター理事長 福家 清司	レキシルとくしま「アワコウコ葉の逸品」への展示
	2月25日	4月21日 5月15日				
2	2月28日	複製・撮影・出版物掲載	中庄東遺跡、川西遺跡 他出土遺物、写真	19	(公財)徳島県埋蔵文化財センター理事長 福家 清司	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ第一四国の出土と暮らしてでの写真展や、パンフレット、チラシ、ホームページなどによる広報媒体への掲載
	3月23日	4月1日 4月22日				
3	3月2日	貸出・その他(展示)	中庄東遺跡、川西遺跡 他出土遺物、写真	19	(公財)徳島県埋蔵文化財センター理事長 福家 清司	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ第一四国の出土と暮らしてでの展示(松山市考古館)
	3月23日	4月22日 5月31日				
4	3月2日	貸出・その他(展示)	中庄東遺跡、川西遺跡 他出土遺物、写真	19	(公財)徳島県埋蔵文化財センター理事長 福家 清司	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ第一四国の出土と暮らしてでの展示(松山市考古館)
	3月23日	6月1日 7月10日				
5	3月2日	貸出・その他(展示)	中庄東遺跡、川西遺跡 他出土遺物、写真	19	(公財)徳島県埋蔵文化財センター理事長 福家 清司	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ第一四国の出土と暮らしてでの展示(高知県立埋蔵文化財センター)
	3月23日	7月10日 8月31日				
6	3月2日	貸出・その他(展示)	中庄東遺跡、川西遺跡 他出土遺物、写真	19	(公財)徳島県埋蔵文化財センター理事長 福家 清司	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ第一四国の出土と暮らしてでの展示(高知県立埋蔵文化財センター)
	3月23日	9月1日 9月16日				
7	3月2日	貸出・その他(展示)	中庄東遺跡、川西遺跡 他出土遺物、写真	19	(公財)徳島県埋蔵文化財センター理事長 福家 清司	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ第一四国の出土と暮らしてでの展示(香川県埋蔵文化財センター)
	3月23日	9月17日 11月30日				
8	3月2日	貸出・その他(展示)	中庄東遺跡、川西遺跡 他出土遺物、写真	19	(公財)徳島県埋蔵文化財センター理事長 福家 清司	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ第一四国の出土と暮らしてでの展示(香川県埋蔵文化財センター)
	3月23日	12月1日 12月17日				
9	3月2日	貸出・その他(展示)	中庄東遺跡、川西遺跡 他出土遺物、写真	19	(公財)徳島県埋蔵文化財センター理事長 福家 清司	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ第一四国の出土と暮らしてでの展示(徳島県立埋蔵文化財総合センター)
	3月23日	12月18日 1月31日				
10	3月2日	貸出・その他(展示)	中庄東遺跡、川西遺跡 他出土遺物、写真	19	(公財)徳島県埋蔵文化財センター理事長 福家 清司	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ第一四国の出土と暮らしてでの展示(徳島県立埋蔵文化財総合センター)
	3月23日	2月1日 3月17日				
11	3月7日	出版物掲載	円通寺遺跡出土木製品 画像	203	徳島県立博物館 館長 新居美佐子	令和2年度部門展示「発掘された木の道具」における広報資料への掲載
	3月18日	4月9日 6月18日				
12	3月7日	貸出	円通寺遺跡出土木製品 地	203	徳島県立博物館 館長 新居美佐子	令和2年度部門展示「発掘された木の道具」で展示
	3月19日	4月9日 6月18日				
13	3月13日	出版物掲載	般若寺遺跡出土遺物 画像	24	徳島県立博物館 館長 新居美佐子	令和2年度開催予定の企画展「歴出し」とくしま「宝もの」展(仮)における図録・広報媒体への掲載
	3月18日	3月19日 6月7日				
14	3月13日	貸出・その他(展示)	般若寺遺跡出土遺物	24	徳島県立博物館 館長 新居美佐子	令和2年度開催予定の企画展「歴出し」とくしま「宝もの」展における展示
	3月19日	4月17日 6月8日				
15	3月30日	出版物掲載	加茂東原遺跡現地説明会 資料	1	株式会社ジャパン通信情報センター 編集部 芹澤義夫	「文化財発掘出土情報」に掲載
	4月1日	5月				
16	4月4日	出版物掲載・その他(展示)	敷地遺跡こけら塚の写真 、高島城下町務、安宅 2丁目地点写真、他	7	徳島県立博物館 館長 新居美佐子	令和2年度部門展示「発掘された木の道具」で展示、掲示するポスター やチラシへの掲載
	4月10日	4月14日 6月14日				
17	5月1日	その他(WEB掲載)	般若寺遺跡出土遺物写 真	1	毎日新聞徳島支局 支局長 井上直樹	毎日新聞徳島面での連載記事「歴出し」とくしま「宝もの」展」掲載
	5月15日	5月				
18	5月1日	貸出・その他(展示)	石井城ノ内遺跡出土块状 瓦飾り、西野遺跡出土ヒ ヌイ製大鉢、下中筋遺跡 出土ガラス勾玉他	17	(公財)徳島県埋蔵文化財センター 理事長 福家 清司	理蔵文化財速報版「2020発掘とくしま」での展示
	6月2日	6月2日 7月13日				
19	5月19日	その他(チラシ・写真掲示)	牟岐古米遺跡出土滑り 鉢、羽茎写真	2	牟岐町教育委員会 教育長 丹野尚明	県南市町・(公財)徳島県埋蔵文化財センター合同企画「長良の埋蔵文化財」牟岐会場のチラシにおける 遺物写真的掲載
	5月26日	7月				
20	5月20日	出版物掲載	萩原1号墓出土土画文帶 同式神祇鏡写真	1	島根大学法文学部 岩本康	「三角縁神獣鏡と古墳時代の社會」(六書院、9月刊行予定)に掲載
	5月26日	7月1日 9月30日				
21	5月25日	その他(広報)	下中筋遺跡出土ガラス 勾玉写真	1	(公財)徳島県埋蔵文化財センター 理事長 福家 清司	県南4市町・(公財)徳島県埋蔵文化財センター合同企画「長良の埋蔵文化財」牟岐会場のチラシ・クリ アファイルの開業に使用
	6月2日	9月5日 10月11日				

申請日	申請内容		資料名称等	点数	申請者	利用目的等
	許可日	開始日				
22	5月26日	貸出・出版物掲載・その他(展示)	観音寺遺跡出土遺物 及び画像	24	徳島県立博物館 館長 新居美佐子	令和2年度企画展「破出し！とくしま“宝もの”展」における展示及び 図録・広報媒体への掲載【期間変更】
	6月2日	4月21日 5月15日				
23	5月26日	出版物掲載	矢野遺跡出土銅鏡・銅 鏡出土状況写真	2	(株)新泉社 代表取締役 石垣雅設	森浩一の古代学をつなぐ』に掲載し て掲載
	6月2日	6月10日～				
24	6月9日	閲覧・その他(3次元計測)	南蔵本遺跡出土土器	23	南山大学 中尾央	個人研究
	6月12日	6月18日				
25	6月11日	貸出	移動教材セット	1	長原小学校 校長 安友仁江	6年社会科の参観授業で使用
	6月12日	6月18日 6月19日				
26	6月10日	出版物掲載	矢野遺跡出土土器実測 図	7	中央大学 小林謙一	学術論文：中央大学人文学科研究所紀要 96号（2020年刊行予定）『徳島 県矢野遺跡出土土器付着物の層位14 年代測定研究』(小林謙一)に掲載
	6月19日	10月				
27	6月19日	その他(講義資料に使用)	西宿谷山木村根御跡写真	1	三好市役所 産業観光部 部長 松本俊明	三好市立ジオパーク推進会議会 議会が共同で実施している「三好市 プライド養成講座 2020」の講義 資料として使用
	6月30日	8月21日 9月4日				
28	7月6日	貸出・その他(展示)	石井城内・内宮跡出土塹抵抗 壁より、西宿谷山木村根御跡出土ヒ ズ・箭頭、下中筋跡出土ガラス勾玉	15	(公財)徳島県埋蔵文化財セン ター理事長 福家 清司	埋蔵文化財連携「アワコウ奈いっ びん2」での展示
	7月9日	9月3日 10月13日				
29	7月8日	出版物掲載	観音寺遺跡出土論語本 箋写真	2	株式会社丸久社 代表取締役社長 下中美都	別冊太陽「日本書紀」への掲版掲載
	7月16日	9月20日				
30	7月10日	貸出	移動教材セット	1	麻神小学校 校長 谷田裕之	6年社会科授業（歴史分野）で使用
	7月16日	7月20日 7月22日				
31	7月10日	貸出・その他(展示)	移動教材セット、大井 遺跡出土短刀	2	高岡町立博物館 館長 長尾正大	企画展「はじめての埋蔵文化財」に 展示
	7月16日	8月7日 8月17日				
32	7月15日	貸出	移動教材セット	1	美馬市教育委員会 教員 村岡直美	学校出前授業に利用
	7月21日	8月26日 9月18日				
33	7月22日	閲覧・撮影・その他(計測)	宝篋印塔出土玉類、 萩原塙古墳群出土玉類、 蓮華谷古墳群(Ⅱ)出 出土類他	2,276	奈良女子大学 大賀克彦	個人研究
	8月6日	8月19日 8月20日				
34	8月3日	出版物掲載	山田古墳群 A、神宮寺 道跡 告書掲載図	5	西本沙織	徳島地方史研究会 50周年記念論集 資料紹介「遺跡出土の中世石造物 －阿波の事例－」に掲載
	8月18日	秋頃				
35	8月14日	出版物掲載	加茂宮ノ前遺跡出土耳 飾り写真	2	株式会社はるの制作室 代表取締役 真瀬宗	宝島社「DJ MOOK 最新の発掘成果 からわかった日本の古代史」の第 1章「石器・縄文時代」の記事中に 掲載
	8月19日	8月26日 9月15日				
36	8月14日	閲覧・撮影	中島山遺跡出土遺物、寺 山遺跡出土遺物、川西 遺跡出土遺物	72	徳島市教育委員会 教育長 松本賢治	徳島市立考古資料館設展の展示替 えに伴う資料借用の事前調査
	9月1日	9月16日				
37	8月26日	閲覧・撮影・その他(計測)	矢野遺跡出土深鉢、カ ネ谷遺跡出土土器、斧他	18	徳島県立博物館 館長 新居美佐子	徳島県立博物館常設展示のリ ニューアルに伴うレプリカ制作のた めの事前調査
	9月2日	9月29日 10月1日				
38	9月1日	閲覧・撮影	南蔵木遺跡出土埴り弓	4	徳島市立考古資料館 大森美菜	徳島市立考古資料館において開催す る令和2年度企画展「音の考古学」 に展示するため、遺物の状態を 確認する事前調査
	9月7日	9月9日				
39	9月4日	その他(ケーブルテレビ放送)	日吉谷遺跡報告書掲載 写真他	39	(公財)徳島県埋蔵文化財セン ター瀬戸利恵	県内のケーブルテレビを使用して行 われた「とくしま「あかね」下北松島 議会の「活き書きシニア放送講座」第8回「山石器・縄文時代の徳島」 の講義資料として放送されたため
	9月16日	11月 3月				
40	9月10日	出版物掲載	新居見遺跡出土耳飾 寫真他	9	小松島市教育委員会 教育長 小野寺知	令和2年度未刊行予定「小松島市の 文化財」(500部、無料配布)への掲 載に用意
	10月5日	3月				
41	9月16日	出版物掲載	南蔵木遺跡出土飾り弓 写真	1	徳島市立考古資料館 館長 上野見親	徳島市立考古資料館にて開催する令和 2年度特別企画展「音の考古学-SOUND OF ARCHAEOLOGY-」にて展示
	10月5日	9月29日 10月1日				
42	9月24日	貸出	南蔵木遺跡出土飾り弓	1	徳島市立考古資料館 館長 上野見親	徳島市立考古資料館にて開催する令和 2年度特別企画展「音の考古学-SOUND OF ARCHAEOLOGY-」にて展示
	10月12日	1月19日 3月21日				
43	10月5日	撮影・その他(Web配信)	徳島県立埋蔵文化財総 合センター展示室映像	1	(公財)徳島県埋蔵文化財セン ター瀬戸利恵	とくしま“あい”ランド推進協議会が 主催する Web講座「発見された徳島」 の講義として撮影、配信 (YouTube)
	10月12日	11月 3月				

申請日	申請内容		資料名称等	点数	申請者	利用目的等		
	許可日	開始日						
44	10月2日	貸出・出版物掲載		般音寺遺跡出土論語本 簡写真	1	(株)岩波書店 取締役編集局長 坂本政謙	書籍「文字ことば」岩波書店より 2020年11月26日刊行予定)本文 例として掲載	
	10月8日	10月12日						
45	10月2日	貸出		大古代墳出土埴輪	17	専門市教育委員会 教育長 安田修	令和2年11月23日に開催する「国 指定史跡「古代吉墳」の一般公開に あたって、その概要説明を行なうため の資料として掲載	
	10月8日	11月16日	12月11日					
46	10月5日	撮影・その他(Web配信)		徳島県立埋蔵文化財総 合センター・矢野銀輝 写真他	49	(公財)徳島県埋蔵文化財セン ター瀬戸利彦	としま「あい」ランド推進協議 会が主催するWeb講座「発掘された 徳島」の講義として撮影、配信 (YouTube)【講義用写真】	
	10月12日	11日	3月					
47	10月13日	閲覧・模写・撮影		前田遺跡出土石器、櫛 ノ洞跡出土石器他	284	(公財)愛媛県埋蔵文化財セン ター乗松真也	個人研究	
	10月28日	11月4日	11月5日					
48	11月6日	撮影・その他(番組制作)		加茂宮ノ前出土遺物他	10	徳島県立高校 校長 後藤浩代	第39回徳島県高等学校総合文化祭 競技部門に出品する作品の制作	
	11月9日	11月13日						
49	11月14日	閲覧・模写・撮影		矢野遺跡出土石器、大 柿窪跡出土土製埴輪	19	徳島県立博物館 館長 新居美佐子	レプリカ制作および展示のための資 料調査	
	11月20日	11月27日						
50	11月20日	貸出		般音寺遺跡出土木簡写 真	1	株式会社エム・ピー・シーエン ス代表ブライズ 代表取締役 月岡里美	12月13日(日)放送NHK Eテレ「戀 歌と園芸」内にて使用	
	11月30日	12月13日	12月17日					
51	11月26日	閲覧・撮影		矢野遺跡出土土器、石井 城ノ内遺跡出土土器他	184	大阪大学 岩網美智	卒業論文執筆	
	12月1日	12月8日	12月11日					
52	12月4日	その他(転載)		中島田遺跡出土木簡写 真	19	木簡学会 会長 佐藤信	会誌「木簡研究」誌面の電子化およ びインターネット公開	
	12月11日	1月1日						
53	12月11日	その他(放送)		般音寺遺跡出土木簡写 真	1	NHK奈良放送局 放送部長 潘瀬直人	12月13日(日)放送NHK Eテレ「戀 歌と園芸」から、一部を抜粋して内 放送	
	12月11日	12月15日						
54	12月16日	貸出		徳島城下町跡徳島町1 丁目出土点出土溶融ガラ ス他	23	藍住東小学校 校長 矢野雅	社会科授業の教材	
	12月16日	12月16日						
55	12月15日	貸出・複製・その他(展示)		丹井遺跡出土縄文土器 写真他	48	徳島県立博物館 館長 新居美佐子	県立博物館の新常設展示室で展示	
	12月21日	12月23日	1月23日					
56	12月14日	出版物掲載		矢野遺跡出土土製板面 写真	1	株式会社 文教舎 代表取締役 柳町敬直	安倉正人著「縄文時代 下」の本文 に掲載	
	12月21日	12月24日						
57	12月17日	その他(パネル製作)		川西遺跡報告書巻頭写 真	1	徳島市教育委員会 教育長 松本賢治 公益社団法人 徳島市シルバー 人材センター 理事長 森本勝	徳島市考古資料館常設展のパネル展 示	
	12月25日	2月22日						
58	12月17日	貸出		中島田遺跡出土遺物、寺 山遺跡 出土遺物	40	徳島市教育委員会 教育長 松本賢治 公益社団法人 徳島市シルバー 人材センター 理事長 森本勝	徳島市考古資料館の常設展示	
	12月25日	2月12日	3月31日					
59	12月21日	出版物掲載		般音寺遺跡出土論語本 簡写真	1	株式会社 山川出版社 代表取締役 野澤武史	文部科学省検定教科書 高等学校地 理歴史科日本史探究に使用	
	12月25日	1月1日	2月1日					
60	1月20日	複製		矢野遺跡出土縄文土器 他	13	徳島県立博物館 館長 新居美佐子	リニューアルする博物館常設展でレ プリカ・復元品の展示	
	1月26日	2月1日	5月31日					
61	1月27日	貸出・複製		般音寺遺跡出土木簡レ プリカ	4	徳島県立博物館 館長 新居美佐子	リニューアルする博物館常設展で使 用するレプリカの製作	
	2月4日	2月2日	3月31日					
62	1月27日	貸出・複製		般音寺遺跡出土木簡レ プリカ	4	徳島県立博物館 館長 新居美佐子	リニューアルする博物館常設展で使 用するレプリカの製作	
	2月4日	4月1日	5月31日					
63	2月1日	撮影・その他(実測)		丸山遺跡出土削剝茎片	1	愛媛大学 吉田広 科学研究費助成研究(B)「古墳群跡復元 とその周辺の自然環境(徳島県阿南市 者・磐成川三)による、古墳群出土遺物 形態割合の確定と調査資料の調査研究」	考古資料相互貸借事業での展示を目 的とした資料調査	
	2月5日	2月15日						
64	2月18日	閲覧・模写・撮影		大松遺跡出土青磁陶他	16	徳島県立博物館 館長 新居美佐子	考古資料相互貸借事業での展示を目 的とした資料調査	
	2月24日	2月25日	3月8日・3月9日					
65	2月19日	貸出・出版物掲載		犬山天神山古墳出土石 棺写真	1	徳島県立博物館 館長 新居美佐子	徳島県立博物館ニュース№122(合 3年3月25日発行予定)に掲載	
	2月26日	3月15日						
66	2月24日	貸出		中島田遺跡出土遺物、寺 山遺跡出土遺物他	40	徳島市教育委員会 教育長 松本賢治 公益社団法人 徳島市シルバー 人材センター 理事長 森本勝	徳島市考古資料館の常設展示	
	2月26日	4月1日	3月31日					

申請日	申請内容		資料名称等	点数	申請者	利用目的等
	許可日	開始日				
67 2月25日	出版物掲載	矢野遺跡出土銅鏡の出土状況写真	1	(株)ユニフォトプレスインター ナショナル 代表取締役 太田東洋男	(株)帝国書院発行の教材「徳島県歴史アートブック上巻」に掲載	
3月8日 4月1日						
68 2月26日	貸出・出版物掲載・その他(展示)	中庄東遺跡出土銅鏡、寺山遺跡出土銅鏡他	9	(公財)徳島県埋蔵文化財センター ターミネーション 福家 浩司	レキシルとくしま逸品展示「徳島の和鏡」に使用	
4月2日 4月20日 5月23日						
69 3月5日	その他(H.P掲載)	加茂宮ノ前遺跡現地説明会資料	2	加茂谷元気な町づくり会 原幸 喜	加茂宮ノ前遺跡を当会のHPに掲載して内外に向けて貴重な遺産のPR	
3月10日 3月						
70 3月15日	閲覧・撮影	若杉山遺跡出土石碑他	15	徳島県立博物館 館長 新野美佐子	京都国立博物館との考古資料相互貸借事業にかかる事前資料調査	
3月18日 3月19日						
71 3月26日	その他(H.P掲載)	川西遺跡出土木簡実測図	6	木簡学会 会長 佐藤周	会誌「木簡研究」誌面の電子化およびインターネット公開	
4月21日 7月1日						
72 3月28日	出版物掲載	根音寺遺跡出土馬鹿木簡写真	1	土浦市立博物館 振部猛	個人研究	
4月2日 8月						

(6) 発掘調査における普及活動

発掘調査中の遺跡の調査成果を広く県民などに公開した。

① 遺跡名 加茂東原遺跡（三好郡東みよし町）

日 時 令和2年11月14日（土）

主な内容 古墳時代初頭と飛鳥時代の集落から発見された遺構と遺物の公開

参 加 者 100名

(7) 教材等の貸出

・移動教材セット等の貸出状況 4回

	団体名	人数	貸出日	返却日	教材名
1	長原小学校	5	6月18日	6月19日	移動教材セット
2	明神小学校	33	7月20日	7月22日	移動教材セット
3	海陽町立博物館	80	8月7日	8月17日	移動教材セット
4	美馬市教育委員会	140	8月26日	9月18日	移動教材セット

(8) 出前授業・体験等の実施

・12回（参加者 362人）

	団体名	人数	実施日	内容
1	藍住東小学校	74	7月1日	午前 移動教材セット・PPT
2	市場小学校	48	7月17日	午前 火おこし
3	海陽町立博物館	20	8月12日	午後 勾玉づくり
4	上八万小学校	49	10月9日	午後 勾玉づくり
5	西麻植小学校	18	10月21日	午後 勾玉づくり
6	宝田小学校	22	11月4日	午後 火おこし
7	林小学校	37	11月24日	午後 勾玉づくり
8	板野南小学校	22	2月9日	午後 勾玉づくり
9	板野町教育委員会（町民センター）	10	2月15日	午後 勾玉づくり
10	板野南小学校	22	2月16日	午後 勾玉づくり
11	板野町教育委員会（南公民館）	30	2月22日	午後 勾玉づくり
12	板野町教育委員会（ふれあいプラザ）	10	3月18日	午後 勾玉づくり

（谷口）

徳島県埋蔵文化財センター年報 Vol.32

—令和2(2020)年度—

発行日 令和3(2021)年6月15日

編集・発行 公益財団法人 徳島県埋蔵文化財センター

〒779-0108 徳島県板野郡板野町犬伏字平山86番2
TEL (088) 672-4545

HP <http://www.tokushima-maibun.net>
E-mail awapac@tokushima-maibun.net

印 刷 徳島県教育印刷株式会社